

## 令和 5 年度幼稚園教諭免許法認定講習等推進事業 成果報告書

団体名：国立大学法人鳴門教育大学

### 1. 事業の実績

#### (1) 事業目的

幼稚園教諭二種免許を有する者が約 7 割であることを鑑み、特に四国四県ならびに岡山県・広島県・関西圏を中心とした、公立・私立の幼児教育を担う幼稚園教諭の専門性の向上を図り、一種免許状の取得の機会を提供することを目的とする。また、対面（附属幼稚園での保育観察の演習を含む）とオンライン（同時双方向とオンデマンド）の両方による多様な実施形態の講習の開発を行うことを目的とする。

#### (2) 事業概要 ※実施日程を必ず明記すること。

本事業は、徳島県教育委員会と連携を図り、幼稚園教諭免許法認定講習を実施するものである。事業の実施においては、幼稚園教諭の専門性向上のため、最新の知見にもとづき、幼児教育実践に資する講習内容の科目を 10 科目 10 単位開講する。その際、理論と実践を往還的に学ぶためにも、鳴門教育大学附属幼稚園での保育の観察やカンファレンスを中心とした演習等も科目の中で実施する予定である。昨年度、認定講習終了後に授業ごとにアンケート調査を行ったところ、対面（附属幼稚園での保育観察の演習を含む）とオンライン（同時双方向とオンデマンド）といったいずれの形態の講習においても、講習の内容と方法について高い評価を得ることができた。そこで本年度はさらに講習内容の充実をはかるとともに、教員の負担の軽減を鑑み、保育現場の行事等の多忙時期をなるべく避けて実施したい。具体的には受講生が実施しやすいように夏休みや土日を中心に開講する予定である。実施方法は、科目に応じて対面・オンライン（同時双方向とオンデマンド）を使い分け、バランスよく 10 科目を開講する。講習後には、アンケート調査を行い、効果の検証を行う。なお、オンデマンド型のオンライン講習においても、講師への質問を他の受講生と共有したりディスカッションしたりする学習支援システムの機能を使い、双方向型の指導方法を工夫し受講生の内容理解を深める。

#### ●実施日程

事業項目	実施日程
受講者募集開始	令和 5 年 5 月 23 日
免許法認定申請	令和 5 年 5 月 30 日
受講者募集締切	令和 5 年 6 月 22 日
講習受講者決定	令和 5 年 7 月 12 日
受講者追加募集開始	令和 5 年 7 月 20 日
受講者追加募集締切	令和 5 年 8 月 31 日

講習受講者決定	令和5年9月12日
講習	
・教職論	令和5年7月29日～30日
・保育内容（環境）	令和5年8月5日～6日
・幼児と人間関係	令和5年8月25日～26日
・保育内容（人間関係）	令和5年8月28日～29日
・教育心理学（発達心理を含む。）	令和5年9月9日～10日
・保育内容（言葉）	令和5年9月23日～24日
・幼児理解と保育実践の心理学	令和5年10月7日～8日
・幼児教育課程論	令和5年11月4日～5日
・教育相談論	令和5年12月2日～3日
・幼児と環境	令和5年12月16日～17日
単位修得証明書発送	令和6年1月23日
実施委員会開催	令和6年1月31日
免許法実施報告	令和6年2月5日
成果報告書作成	令和6年2月29日

(3) 成果（事業の実績の説明）

幼稚園教諭二種免許を有する者を対象に、幼児教育を担う幼稚園教諭の専門性の向上を図り、一種免許状の取得の機会を提供するために、「鳴門教育大学幼稚園教諭免許法認定講習」を開設し、10科目10単位を講義や演習科目として開講した。

	科目名	実施方法	単位数	定員	受講者数	単位取得者数	上進者数
領域に関する専門的事項に関する科目	幼児と人間関係	対面	1	20	16	16	10 (注)
	幼児と環境	オンライン	1	30	28	28	
保育内容の指導法	保育内容(環境)	1日目:対面 2日目:オンライン	1	20	16	16	
	保育内容(言葉)	オンライン	1	30	24	24	
	保育内容(人間関係)	対面	1	20	13	13	
教育の基礎的理解に関する科目	教育心理学(発達心理を含む。)	1日目:対面 2日目:オンライン	1	20	11	11	
	教職論	オンライン	1	30	21	21	
	幼児教育課程論	オンライン	1	30	26	26	

道徳, 総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導, 教育相談等に関する科目	教育相談論	オンライン	1	30	21	21
	幼児理解と保育実践の心理学	オンライン	1	30	18	18

(注) 上進者数は、2月16日時点での「学力に関する証明書」発行者数

受講料は1単位 5,000 円とし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインと対面を併用して講習を実施した。オンラインは定員を30名、対面は20名としたが、当初の募集期間では全科目定員に満たなかったため、後半の5科目において、追加募集を行った。追加募集を含めた申込率は、オンラインは約80%、対面は74%であり、昨年度と同じ定員であるが、申込者数は2倍に増えた。また、受講者による事後アンケートでは、オンライン授業と対面授業の併用に対する好意的な意見や学びの効果についてプラスの意見が多数見られた。申し込み段階では、オンライン授業に対する困難感が見受けられるが、事前の接続テストを実施したり講習の回数を重ねるうちに受講者も慣れることができた。広報用パンフレット等でオンライン授業の利便性と効果について分かりやすく説明するとともに、逐次丁寧な対応をする必要がある。

#### (4) 今後の課題・展望

今年度は、幼稚園教諭が受講しやすい夏休みを加えた7月～12月の予定で講習を実施した。来年度も、7月から講習を開始できる体制を整えるとともに、受講者にはやめに日程を周知する。また来年度は最初から九州地区にも広報を行う予定である。

さらに今年度に引き続き、鳴門教育大学附属幼稚園での幼児教育実践をふまえた演習を実施し学びの充実をはかると共に、遠隔地の受講生の便宜にもつながるオンラインによる講習開催も実施する。

また、先にも述べたがオンライン授業を実施するにあたっては、申し込み段階でオンライン授業に対する困難感が見受けられるため、広報用パンフレット等でオンライン授業の利便性と効果について分かりやすく説明し、逐次丁寧な対応をする必要がある。